

令和3年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[57] 『鬼滅の刃』の世界観	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際観光学科 教授 橋元 志保
授業概要	人間にとって、「鬼」とはいかなる存在なのでしょうか。そして、私たちは何故、鬼狩りの少年たちの物語に惹きつけられるのでしょうか。本講義では、日本の文化・文学をたどりながら、『鬼滅の刃』に描かれた鬼や、鬼狩りの特色について、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。		
授業方法 と留意点	パワーポイント等を使用し、映像を見せながら、日本の文化・文学に表された「鬼」「鬼狩り」について、わかりやすく解説します。当日は、資料もお配りします。		
授 業 計 画			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
＜6月25日（金）17：30～19：00＞			
第1講：「鬼とはいかなる存在かー鬼と人の文化史ー」			
『鬼滅の刃』において、すべての鬼たちの始祖とされる鬼舞辻無残が生まれたのは、平安時代です。確かに王朝時代の京都では、その闇の中を鬼たちが跳梁し、都人を脅かし続けていました。日本の文化・文学をたどりながら、『鬼滅の刃』の世界の中の鬼という存在について、皆で考えていきましょう。			
＜7月 2日（金）17：30～19：00＞			
第2講：「鬼を滅ぼす者たちー鬼狩りの系譜ー」			
鬼との戦いの中で、煉獄杏寿郎をはじめ、たくさんの鬼殺隊の剣士が傷つき、倒れ、亡くなっていきます。何故、人が圧倒的に力の差のある鬼と戦う物語が、こんなにも好まれるのでしょうか。武士たちの台頭と共に、文学に表された鬼狩りのルーツをたどりながら、『鬼滅の刃』における鬼狩りの意義について考えていきます。			
その他			
テキスト	資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	言語文化・古典探究・文学国語・歴史		
開講日時	6/25（金）	7/2（金）	
	17：30～19：00		
会場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-4337（平日9：00～17：00）		
	E-mail：kyomu@nau.ac.jp / yuuki-sasaki@nau.ac.jp		